

社会との コミュニケーション 活動

環境イベントへの参加

各地の環境イベントに積極的に参加しています。

・「環境とまちづくり・リサイクルフェア'99大阪イン泉大津」
(1999年11月 大阪府泉大津市)

「よりよい環境・くらし・まちづくり・リサイクル」をテーマとした一般市民参加型の環境イベント。当社はバルブ事業部の水質モニター「お水番」、機械事業部の「アメージ溶剤回収装置」「プラスチックボトル材質・色自動選別装置」などのパネル展示で参加しました。

・「スミノエコロジー2000」(2000年3月 大阪市住之江区)

まちづくり事業の一環として開催されたこのイベントには、環境管理部の呼びかけで地元の住吉工場・加賀屋工場や本社から有志が一般参加。子供達にもわかりやすいイラストを使ったパネル展示で、当社の環境活動への取り組みや環境関連製品を紹介しました。

◆イベントで使われたポスター

このポスターは4つの部分からなる
環境自主行動計画を示す。



その他、(社)大阪工業会の地球環境問題専門委員会などでの講演活動も行っています。

環境美化活動に積極参加

工場周辺や河川の清掃活動を定期的に行っています。

・中央安全衛生委員会パトロールで工場周辺を清掃

加賀屋工場では、近隣地域の環境美化活動の一環として、中央安全衛生委員会メンバーによる清掃を毎月実施しています。もともと中央安全衛生委員会は職場の安全・衛生を目的にパトロールを行っていましたが、工場周辺の美化も大切であるとの考えから、パトロールに周辺

の清掃活動を取り入れました。これからも継続し、近隣との共生を図ってまいります。

・「大和川・石川クリーン作戦」(2000年3月 大阪府堺市)
クリーンな川を取り戻そうと大阪府と流域市町村などが主催したイベントに、泉北工場を中心に有志が参加、一斉清掃に協力しました。

植林活動を支援

当社は環境NGOの財団法人オイスカ*を通じて、インドネシア・ジャワ島の植林活動を支援しています。1999年10月から実施され、植林本数は総計5,943本、植林面積は全体で約8.16ヘクタールに及んでいます。

この植林システムでは、現地の子供達やハンディキャップを持つ人達が自ら植林し、苗木の維持管理には村人の協力を仰いでいます。今後も植林支援を継続実施し、緑化活動に貢献していきます。この活動に対して1999年にオイスカより表彰されました。

◆支援先のヤクムリハビリ
センターの植林地の看板
支援者として当社名が記載されて
いる



エコロベースの普及

エコロベースボール(通称エコロベース)は、財団法人オイスカが野球をもとに発案した人と環境にやさしいニュースポーツ。竹製バットやペットボトル再生ミットを使用するなど環境に配慮すると同時にルールも簡易にし、子供から年配の方まで幅広く楽しめるゲームです。当社では「人と環境にやさしい」という基本理念に賛同し、社内でエコロベースを楽しむ機会を設けるなどその普及に努めています。

*財団法人オイスカは、発展途上国における環境保全のために、植林や人づくり国づくりに協力する国際ボランティア団体です。